

テクニカル分析応用編

ヒロセ通商株式会社

アセンダント 山中康司

BBによる反転

- ボリンジャーバンドの形の変化
 1. スクイーズ＝バンド幅が狭い＝もみあい
 2. エクスパンション＝バンド幅拡散＝トレンド
 3. ボーজ＝バンド幅縮小＝反転
- 逆張りのポイント
 - ボージ
 - トレンドと反対側のバンドの方向変化に注目

順張りポイント(過去チャート)

- 最初にバンドを終値で突破した足に注目

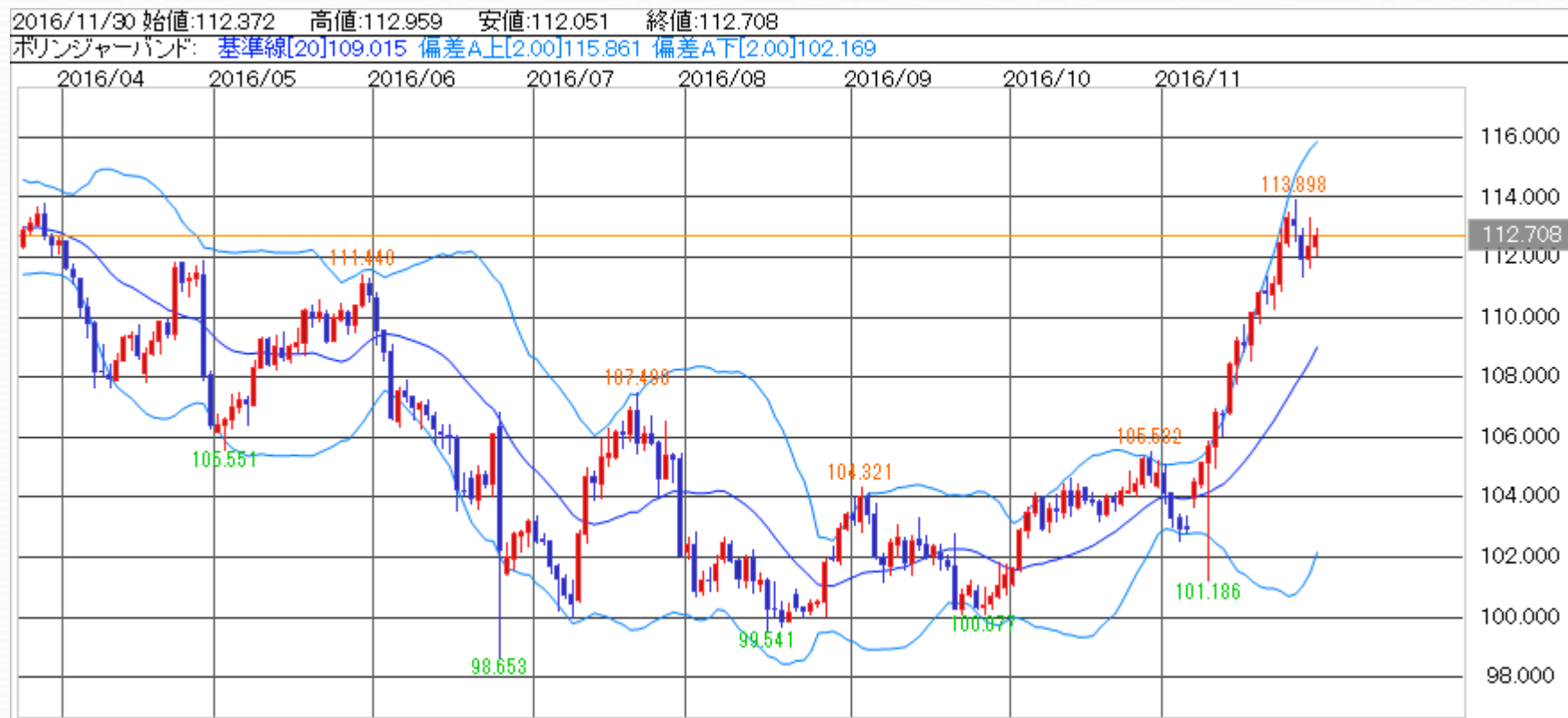


逆張りポイント(過去チャート)

- 抜けた方向と反対のバンドが向きを変える！



ドル円日足



ドル円60分足

2016/11/30 13:00 始値:112.614 高値:112.959 安値:112.519 終値:112.699
ボリンジャーバンド: 基準線[20]112.595 偏差A上[2.00]113.109 偏差A下[2.00]112.081



ストキャスティクスの主な見方

- $\%K + \%D$ をファースト・ストキャスティクス、 $\%D + \text{Slow}\%D$ をスロー・ストキャスティクスと呼び、後者が一般的
1. 1本のラインのみを使ってOB(買われすぎ)・OS(売られすぎ)を判断する
 2. 水準に関係なく2本のラインのGC(ゴールデン・クロス)で買い、DC(デッド・クロス)で売り
 3. OSゾーンのGCで買い、OBゾーンのDCで売り
 4. ダイバージェンス

%Dのダイバージェンス

1. ダイバージェンス

価格が以前の安値よりも安い安値を付けたのに対し、%Dはより高い数値を付けた時に買い。

価格が以前の高値よりも高い高値を付けたのに対し、%Dがより低い数値を付けた時は売り。

2. 隠れたダイバージェンス

価格が以前の安値よりも高い安値を付けたのに対し、%Dがより低い数値を付けた時に買い。

価格が以前の高値よりも安い高値を付けたのに対し、%Dがより高い数値を付けた時は売り。

%Dのダイバージェンス

- ダイバージェンス＝赤、隠れたダイバージェンス＝青



- ポイントは両者にサポート、レジスタンスが引けること

ドル円日足



ドル円60分足



Aroonの読み方 (Extremes 1)

- Extremes (エクストリーム)
- Aroon UP=100は上昇トレンドのスタートを示唆し、その後、Aroon UPが持続的に70以上で推移している場合上昇トレンドが形成されたことを示す。
- Aroon DOWN=100は下降トレンドのスタートを示唆し、その後、Aroon DOWNが持続的に70以上で推移している場合下降トレンドが形成されたことを示す。

Aroonの読み方 (Extremes 2)

- Extremes (エクストリーム)

強いエクストリーム

- Aroon UPが持続的に70以上で、かつAroon DOWNが持続的に30以下の場合は強い上昇トレンドを示す。
- Aroon DOWNが持続的に70以上で、かつAroon UPが持続的に30以下の場合は強い下降トレンドを示す。

Aroonの読み方 (Crossovers)

- Crossovers (クロス)
 - Aroon DOWNがAroon UPを下から上にクロスした場合は弱気トレンドの可能性を示唆する。
 - Aroon UPがAroon DOWNを下から上にクロスした場合は強気トレンドの可能性を示唆する。

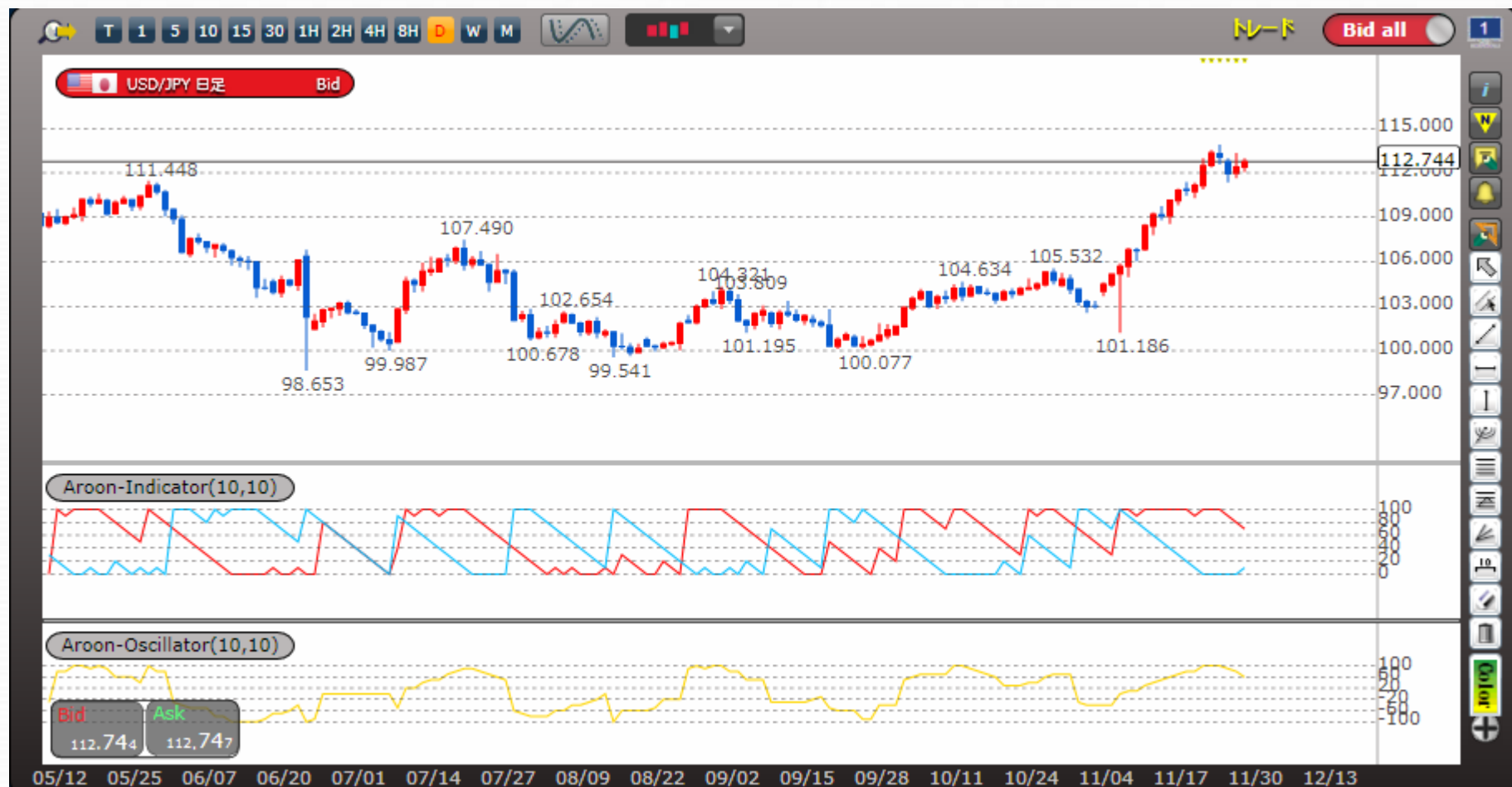
Aroonの読み方 (Parallel)

- Parallel Movement (パラレル)
 - Aroon UPとAroon DOWNのそれぞれが似たような水準で平行に動いている状態。
 - もみあいを示し、ExtremesかCrossoversが現れるまではトレンドが無いと考える。

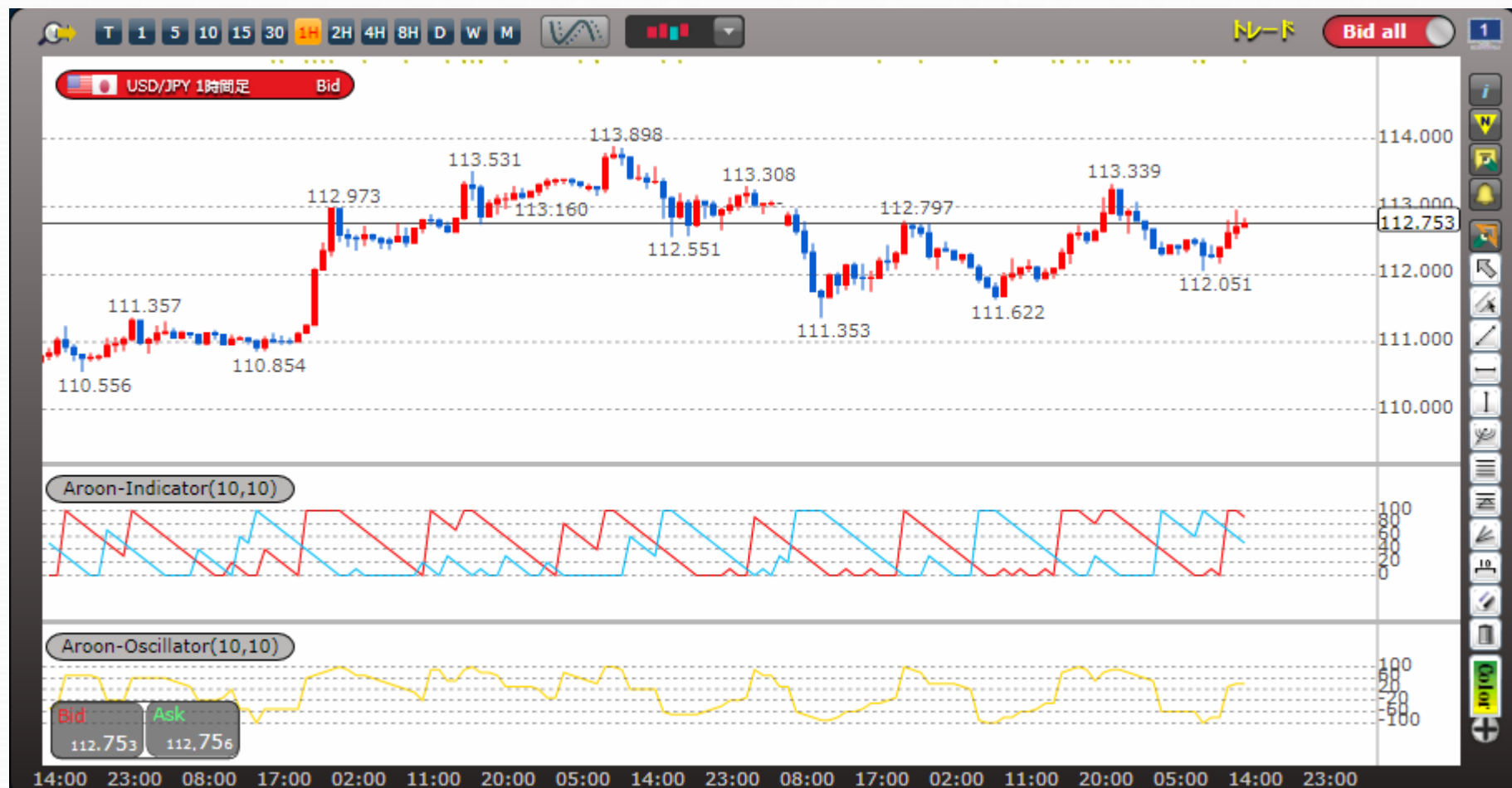
Aroonの読み方 (Oscillator)

- Oscillator (オシレータ)
 - 0ラインよりも上にある時は上昇トレンドを示し、0ラインよりも下にあるときは下降トレンドを示す。
 - 数値が＋も－も100に近いほど強いトレンド。

ドル円日足



ドル円60分足



値幅観測

- プライス・リトレイメント
 - いわゆるフィボナッチ戻し=61.8%、38.2%等
 - プライス・プロジェクション
 - フィボナッチ戻しで100%を超えた場合
- プライス・エクспанション
 - 均衡表のN波動をフィボナッチ比率で計算
- 上記2つを組み合わせた値幅観測

フィボナッチ比

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, 233, ...

($n_2 = n + n_1$ の関係にある数列)

リトレースメント	エクспанション
----------	-----------

0.0

1.0

$0.236 = 34 \div 144$

$1.272 = \sqrt{1.618}$

$0.382 = 55 \div 144$

$1.618 = 89 \div 55$

0.5

$2.618 = 144 \div 55$

$0.618 = 89 \div 144$

$4.236 = 233 \div 55$

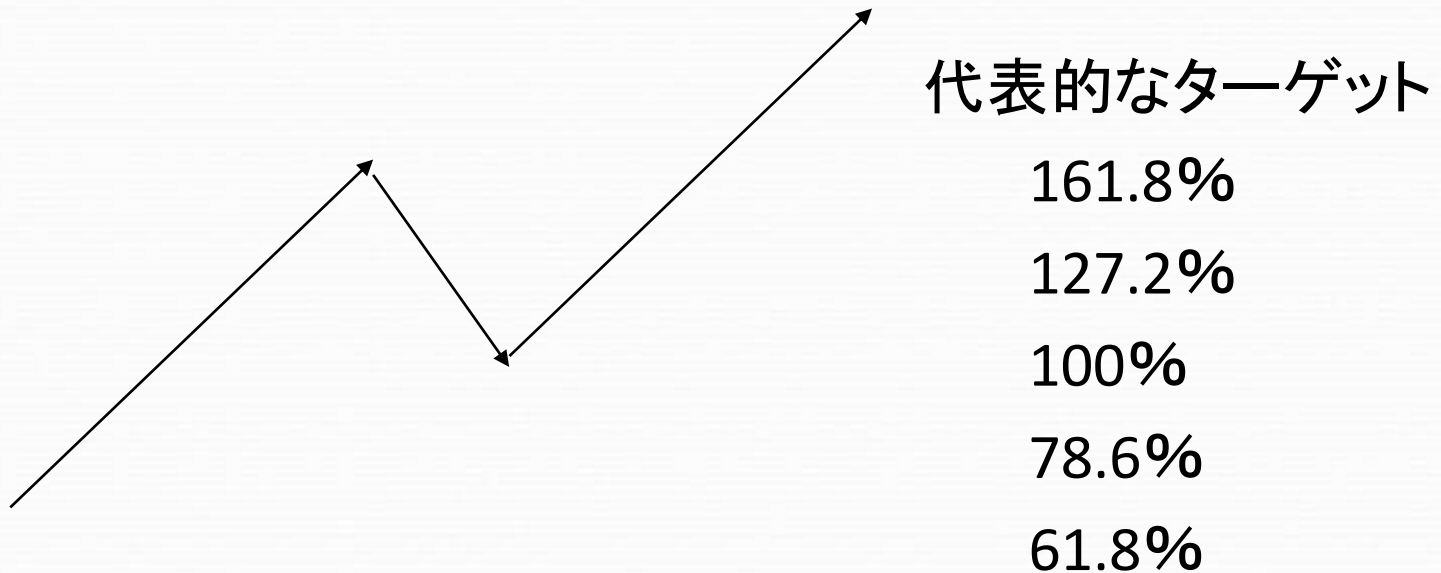
$0.786^* = \sqrt{0.618}$

* 0.786より0.764のほうが一般的

1.0

プライス・エクспанション

- プライス・エクспанション
 - 均衡表のN波動をフィボナッチ比で計算



ドル円日足



値幅観測計算例

- N波動の各レート

- 起点安値 $= 100.077$
- 1波動高値 $= 105.532$ 値幅 $= 5.455$
- 2波動押し $= 101.186$

- 100%～261.8%のターゲット

- $5.455 \times 100\% + 101.186 = 106.641$
- $5.455 \times 161.8\% + 101.186 = 110.012$
- $5.455 \times 261.8\% + 101.186 = 115.467$

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562